

「国家戦略としての京都創生」の実現を求める決議

1200年を超える悠久の歴史と文化が息づく山紫水明の都市・京都は、日本の財産であり、世界の宝である。京都市民は、この京都を先人から受け継ぎ、懸命に守り、伝えてきた。

この混迷の時代に、この京都は日本人が自信と誇りを持って活躍するうえで精神的な支えともなる心の故郷である。また、激動する国際社会で日本国が確固たる地歩を築き、世界から尊敬される国となるためには、日本の文化について日本人自身、また国際社会の理解を得る必要がある。その意味で、日本文化を体現してきた京都を守り、伝えていくことは、国家的使命であると考えている。

我々京都市民は、日本のアイデンティティをはぐくむのは京都であるという自覚の上に立ち、国の多大な財政的支援を受けながらこれまでも最大限の努力をしてきたところである。

しかしながら、昨今、文化の薫り高い京都の美しさが損なわれつつあり、京都に期待される役割を十分に果たせないおそれすらある。これは、国家的、また全世界的な損失である。

そこで、その国家的意義にかんがみ京都市会は、国を挙げて京都を保全、再生、創造し、また活用するため、更なる特別な財政的、制度的措置などの「国家戦略としての京都創生」に積極的に取り組むよう強く求めるものである。

なお、理事者は国に対し、「国家戦略としての京都創生」の必要性を訴えるとともに、具体的な政策の実現について強く働き掛けるべきである。

以上、決議する。